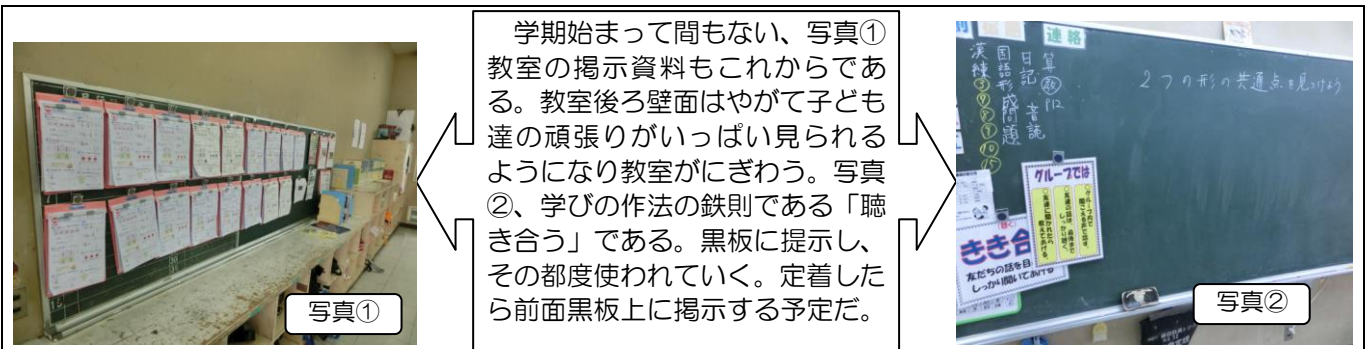


(1) 単元名： 対称の図形

(2) 本時の目標： 2つの形の共通点を見つけよう

真喜屋小学校6年T先生。新年度始まってまだ間もない時期である。昨年度より個人的に「学び合い」の授業に取り組んでいる。新6年生も、T先生と互いに支え合う新たな「学び合い」の授業が営まれて行く。本年度は羽地中学校を中心に周辺小学校も「学びの共同体」の理念による授業経営を進めていくとのこと。ぜひ、T先生の教室をモデル教室として多くの先生方が「学び合う学び」の授業に見識を深めてほしい。

☆文中の児童生徒の名前は全て仮名である。



写真①

学期始まって間もない、写真①教室の掲示資料もこれからである。教室後ろ壁面はやがて子ども達の頑張りがいっぱい見られるようになり教室がにぎわう。写真②、学びの作法の鉄則である「聞き合う」である。黒板に提示し、その都度使われていく。定着したら前面黒板上に掲示する予定だ。

写真②

【算数的活動】

本時の課題「2つの形の共通点を見つけよう。」線対称・点对称の授業である。準備された形をはさみで切り取り2つの形の共通点を探しだしていく。形を切り取る作業にも個人差ははっきりしていたがせかさないうまく取り組ませていた。切り取った後すぐに仲間との「気づき」の共有が勝手に進められていた。教師の「聞き合う」の指示があったわけではない。それぞれの形を手にとって、勝手に語っている。まだ2週間ちょっとの教室である。なぜできる！

日常の卓先生の学級経営、授業経営等いろいろ要因はあると思うが、何よりもT先生の子ども達を大切に思う教師の姿勢や熱意が、このような空気の教室を創り出しているのではないだろうか。



→算数的活動から子ども達は勝手に「学び合い」が発生した。 ↓



【聞き合う】

今日の授業参観は、私の研修出張のついでに今年度の真喜屋小の6年生の子ども達の様子を確認するつもりで訪問した。T先生は、急ぎょ授業を算数の授業に変更し「見て下さい。」の一言であった。課題と授業の流れを確認したら、さっさと作業に取り掛かり勝手に「学び合い」が始まった。余計に時間をかけないところが素晴らしい日常的な「聴く」ができていからである。各グループで図形を手に取り、いじりながらぼそぼそ「気づき」を語り深まっていく。しっとり淡々と、和やかに慎ましく、何て言えばいいのだろう、うまく言葉が見つからない。当然、取り残される子どもは一人もない。しつこいようだが、まだ2週間ちょっとの教室である。



【支え合う】

席を立てて横に寄り添い、腕に落ちない仲間へ「支え合う」が向けられた。半回転、1回転、90度の回転がうまく納得できない。必死になって説明する仲間だ。学びの授業でよく見るシーンだが、どこもなく「分からない子」がえらそうに見えるのはなぜだろう。さらに手前の女の子は、二人のやり取りをじっと見ていたが、やがて女の子も説明のために身を乗り出してくる。「支え合い分かる」喜びを実体験している教室である。自分が力になって仲間が「分かってくれる」ことの喜びも同時に起こる。対話とコミュニケーションによる両者の昇華の姿が美しい。

【聴き合う】

このクラスの聴き合う姿を見てほしい。写真③、女の子の発表に食い入るように「聴く」仲間達(写真④⑤)である。

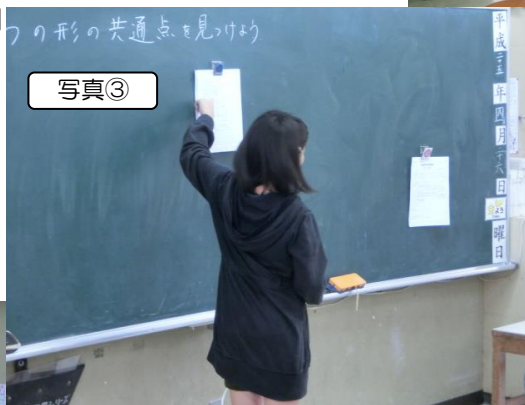
「学び合う学び」の教室で、一番最初に実践されなければならない「聴き合う」行為である。教師への話の聞き方・聞かせ方の問題ではない。子どもの話は教室の仲間に向けられて発せられ「何が言いたい」を心を持って「分かろうとして聴く」である。

身を乗り出して聴こうとする仲間、発表する側も支えられる。

確認しておきたい。「聴く」は教師に向けられるのではなくて教室の仲間に向けられる行為である
その手本となる話の「聴き方」を絶対的に教師の側から手本を示していかないと達成できない。



写真④



写真③

「聴く・訊く・聞く」の使い分けをしよう。

- ・分かろうとして聴く！
- ・教師が手本となる。
- ・話型にこだわらず、仲間が一番わかりやすい言葉でよい。伝えることが目的である。



写真⑤

「学び合い」がぼそぼそであり、「聴き合う」が仲間に向けられ、しっとりした空気が教室をつつむ。

- ▲ 仲間の発表を聴きながらの子どもたちに「俺も言いたい」仕草を見せている子が結構いた。発表の際は、教師は「聴いている側の子ども達」にも目を向けたい。
- ▲ 教師が歩き回ると依存が教師へ向けられる。グループでもケアが必要な時だけ関わろう。

【共有する】

2つの形の共通点を自分の言葉でまとめさせた。女の子の発表写真⑥「二つとも回転しても変わらない。」であった。

その後、仲間たちから言葉がたされた「回転」は「半回転」である。半回転は180°である。ただ変わらないだけではなく「形」が変わらないである。素晴らしい！

教師による発表事項の吟味になって、待ってましたと言わんばかりに仲間達が言葉をつづけた。女の子は自分の話したことが仲間によって言葉が付け足され完成されたことにどう思っただろうか？実は卑屈になることもなく笑顔で聴いていたのである。自分の弱みを出しても卑屈にならないですむのがT先生の学級である。



写真⑥

【2枚の写真】

写真⑦、グループでの対話を見守る教師の遠くからの視線。ここでケアの必要な子を見極めて動くことが大切である。

写真⑧、この笑顔！何ものにも代えがたい。「安心」できる教室ってどんな教室？「僕たち授業が楽しいの。」そんな声が聞こえてきそうな笑顔である。



写真⑦



写真⑧

T先生ありがとうございました。先生にとって2年目の「学び合う学び」への挑戦ですね。今年度から本格的に校内研修でも取り上げられるようです。多くの先生方が「学び合う学び」の教室のイメージをうまく描けず不安がっていると思います。どんどん教室を開き、見せてあげてください（公共性の哲学）

今年度も、「静かに、淡々と、楽しく！」をモットーに挑戦していきましょう。お忙しい中での授業公開、本当にありがとうございました、感謝につきます。